



「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

SCSK株式会社 取締役専務執行役員 福 永 哲 弥

このたびは、「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」のコンピューターソフト部門において「ディスクロージャー優良企業」に選出いただきました。3年連続4回目の受賞となり、大変光栄に思っております。

当社は、日本の産業・社会の新しい価値創造に貢献するITサービス企業であります。2011年10月、住商情報システム株式会社と株式会社CSKの合併により誕生した当社は、ITサービス業界のリーディングカンパニーとなることを目指し、事業活動を行っております。

当社は、持続的な企業価値向上・より高い収益成長に向けて、従来型の受託開発ビジネスからシステムエンジニアリングの供給力に依拠しない「サービス提供型ビジネス」へのシフト、すなわち労働集約型ビジネスからの脱却を目指し、事業構造の転換を図っております。加えて、収益成長を今後さらに加速すべく、時代の変化を捉えた、新しい収益機会が大きく広がる戦略的新規事業の推進に取り組んでおります。

当社の経営資源は人財力にあります。上記事業戦略の推進とともに、「社員の潜在能力を十分に発揮することができる職場環境や要件を求めることは経営そのものである」との考えのもと、役職員が一丸となって志高く働く会社となるべく、「働き方改革」に、合併以前から積極的に取り組んでおり、「働きやすい、やりがいのある会社」を目指し、ワーク・ライフ・バランスの追求、ダイバーシティの推進、社員の健康増進等、さまざまな人事・労務施策を展開しております。社員がいきいきと働くことで、一人ひとりが生み出す付加価値

が当社の成長や好業績につながり、株主・投資家の皆様に利益還元できるという好循環のサイクルが生まれると考えております。

情報開示にあたっては、我々の経営の判断、経営の実行が妥当か否かをご判断いただくための材料・資料といったものを株主・投資家の皆様に適時適切にご提供することが使命であると考えております。当社の取り組みや方向性について、株主・投資家をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様にご理解を深めていただくため、日本国内はもとより、欧州、米国、香港等の海外にて、年間のべ400回を超える国内外の投資家とのミーティングを実施し、投資家の皆様との建設的な対話をさらに充実すべく努力しております。

また、各四半期の決算説明会においては、過去業績の説明はもとより、当社を取り巻く顧客業種の動向や中期経営計画の進捗・取り組み状況等をご説明するとともに、直近の事業動向を示唆する受注残高・受注高の動向や、コスト分析に有用と考える各種原価の明細、さらには事業投資関連の情報開示を行っております。また、財務情報のみならず、当社の社会的責任（CSR）について、あるいはコーポレート・ガバナンスの考え方等、非財務情報についても、統合報告書およびホームページ等にて詳細を開示し、積極的かつ多面的な情報開示を心掛けております。

今後も、社会に貢献する持続的な価値創造を追求するとともに、株主・投資家をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様への適時・公平かつ公正な情報開示に努めてまいります。